

交付金対象事業名		事業目的・概要
「恋人の聖地」広域市町村連携によるデジタル・シティプロモーション事業		「恋人の聖地」を有する全国18市町村が連携し、広域連携による効果的なシティプロモーションにより、地域の魅力を全国、特に東京をはじめとする大都市圏に向け発信するとともに、各市町村の地域資源を魅力あるものに磨き上げることにより、観光振興による交流人口の増加に加え、関係人口の増加を図り、移住・定住による地方への人の流れを生み出すことを目的とする。 事業の概要としては18市町村が共同活用できるポータルサイトの整備による広域プロモーションや各市町村における連携シティプロモーション事業、地域資源の磨き上げや情報発信事業、ブランド強化を図るためのハード整備事業等を通じて地方への人の流れを生み出していく。 連携市町村・・・大阪府貝塚市(代表団体)、北海道七飯町、岩手県花巻市、山形県村山市、福島県田村市、石川県白山市、長野県須坂市、岐阜県山県市、静岡県西伊豆市、愛知県豊根村、大阪府泉南市、兵庫県朝来市、徳島県阿南市、高知県室戸市、福岡県小郡市、佐賀県基山町、熊本県阿蘇市、大分県豊後高田市
総合戦略の位置づけ		
重点戦略2 須坂市への新しい人の流れをつくる		
事業開始	事業終期	
2021年4月	2026年3月	

要素事業		交付金対象事業費 (2024年度実績) 単位:千円	主な取組内容
1	SNS等の活用のためのポータルプラットフォーム基盤整備事業	10,000	広域連携による共同PR・プロモーション事業、ポータルサイト・プラットフォーム構築運営
2	広域市町村連携シティプロモーション事業	23,187	市町村の連携シティプロモーション事業
3	地域産業拡大事業	6,252	地域ブランド・産業拡大事業
4	情報ネットワーク・地域活性化事業	29,352	デジタル活用・地域活性化事業
合計		68,791	

No.	重要業績評価指標 (KPI)	事業開始前	単位	基準年度	2021年度 増加分	2022年度 増加分	2023年度 増加分	2024年度 増加分	2025年度 増加分	増加分 合計	単位	目標値 KPI増加分 の累計	単位
1	観光入込数	7,740,000	人	2020	2,327,399	5,056,138	7,563,653	4,533,734		19,480,924	人	22,155,000	人
					2,326,000	5,033,000	7,549,000	4,530,000	2,717,000	-			
2	ポータルプラットフォームへの投稿数	0	件	2020	2,138	6,108	2,944	1,967		13,157	件	5,130	件
					810	1,080	1,080	1,080	1,080	-			
3	メディア掲載数	0	件	2020	357	682	822	1,064		2,925	件	2,052	件
					324	432	432	432	432	-			

※KPI実績値の下段は事業実施計画における各年度ごとの目標値

※観光入込数…連携する18市町村の観光入込数の合計

※ポータルプラットフォームへの投稿数…18市町村が共同活用するポータルプラットフォームへのYoutube動画の投稿や事業者・一般の方からのコメント・写真などの投稿数

※メディア掲載数…インターネットメディア、SNS、新聞、テレビ等への掲載数

事業効果	地方創生に効果があった	共同プロモーション事業(恋人の聖地チャンネル「恋ch」)YouTubeプロモーション展開、「恋人の聖地グルメ甲子園」タレントIMARUvs市町村長)の実施など、著名人やインフルエンサーとのコラボによる注目度の向上や、18市町村で広域に連携しているスケールメリットを活かした『デジタル・シティプロモーション事業』により、新たな関係人口創出にある程度の効果があった。
今後の方針	事業の縮小	引き続き連携する市町村と共同でプロモーション等を実施し、相互連携による関係人口の更なる拡大を図るとともに市町村における地域資源の磨き上げや情報発信、シティプロモーションを行っていくが、2025年度が交付金の最終年度であるため、2026年度以降については、交付金を活用していた事業について精査を行い、今後の事業の方向性を検討していく。
外部評価 (コメント)		<ul style="list-style-type: none"> ●実施している事業について本当に市民の意向を踏まえているのか。市民に寄り添った事業を実施していただきたい。 ●この事業自体の必要性がまったく感じられなかった。今回の税収減を機会に、ふるさと納税が再開されてからも、交付金事業については必要性を精査していただきたい。